

保護者の皆さんへ

お子さんの

学 力 向 上 のために

必要なこと

東京都教育委員会では、毎年「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施し、子供たちの学習のつまずきや学習に関する意識の状況を明らかにしています。また、各学校では、調査から見える学習の指導上の課題に基づき、日々授業改善に取り組んでいます。

本リーフレットでは、調査結果を踏まえ、お子さんの学習や生活について御家庭で取り組んでいただきたいことを紹介しています。本リーフレットを御活用いただき、お子さんの学びへのより一層の御支援をお願いいたします。

リーフレットの内容

- ① お子さんの学力向上と関連の深いもの
- ② お子さんの学習を家庭で支援する取組例(国語、社会、算数、理科)
- ③ 効果的な家庭学習を進めるために

学びを
支える
スクラム

令和2年3月

東京都教育委員会

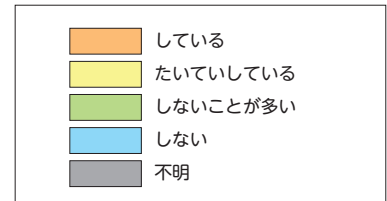
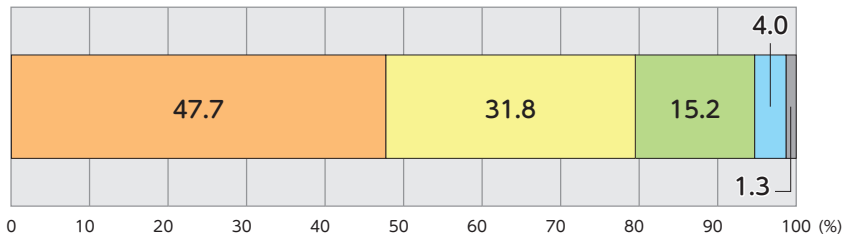
1

お子さんの学力向上と関連の深いもの

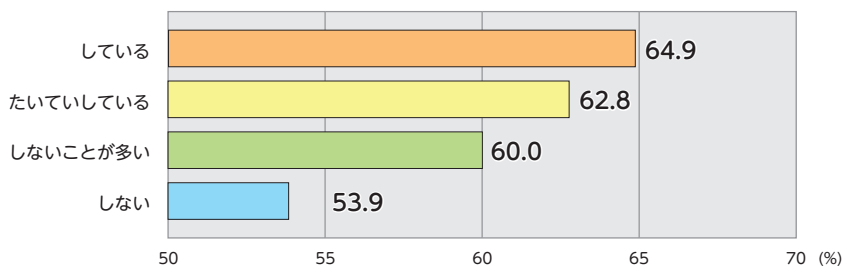
平成31年度「児童・生徒の学力向上を図る

家の人と学校や社会の出来事について話をしている児童ほど、平均正答率が高い傾向がみられます。

「家の人と、学校の出来事について話をしていますか。」という質問に対する児童の回答の割合

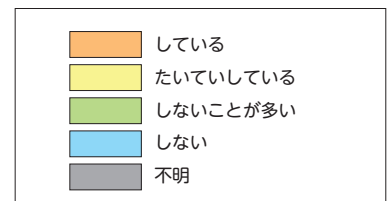
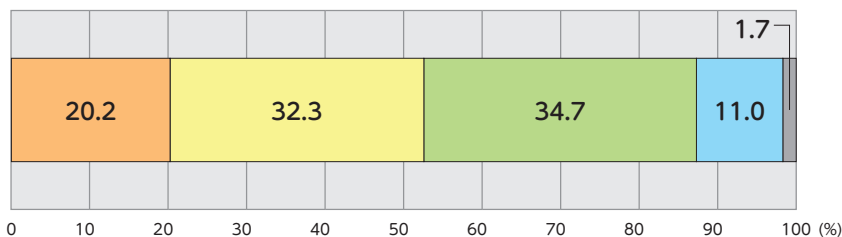


回答ごとの学力調査（4教科合計）の平均正答率

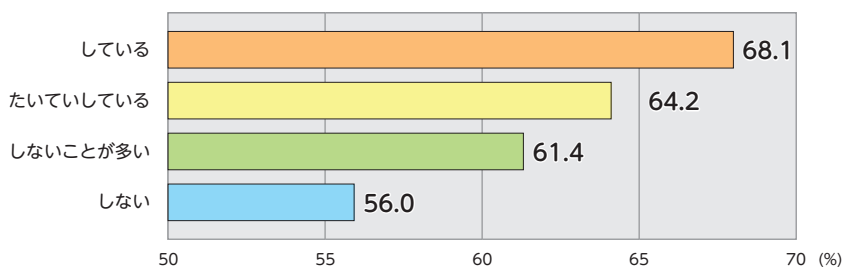


「している」、「たいていしている」と回答した児童のほうが、平均正答率は高くなっていることが分かります。

「家の人と、社会の出来事について話をしていますか。」という質問に対する児童の回答の割合



回答ごとの学力調査（4教科合計）の平均正答率



「している」、「たいていしている」と回答した児童のほうが、平均正答率は高くなっていることが分かります。



この結果をみると、家の人と特に社会の出来事について話をすることが、学力向上を図る上で大切だということが分かります。学校や社会の出来事について話をすることを通して、児童は学習したことを再確認したり再構成したりと考えられます。

※ 本調査は、数値を四捨五入していることから、合計が100%にならないことがあります。



中のページには、お子さんの学習を家庭で支援する取組例を示してあります。ぜひ御覧ください。

ための調査」 児童質問紙調査の結果から

お子さんとの会話を振り返ってみましょう
～このようなとき、どのように言葉を掛けていますか～

お子さんが伝えたい内容をうまく言葉で表現できないとき

お子さんが伝えようとしていることを受け止め、「～ということは、○○だね。」「つまり、○○ということかな。」と要約したり、言い換えたりするなど、表現のヒントを示していますか。

お子さんの伝えようとする気持ちを大切にしながら、話の内容を要約したり、別の表現に言い換えたりするなどして、お子さんが自分の伝えたい内容にふさわしい表現を考えられるようにすることが大切です。

お子さんが取り組んでいることが、なかなかうまくいかないとき

お子さんの様子を見ながら、「どうしたらいいと思う。」「なぜうまくいかないのかな。」などと解決の見通しをもたせたり、それまでの取組を振り返らせたりしていますか。

保護者の方が、すぐに解決方法を示すのではなく、解決への見通しをもたせたり、うまくいかない原因を振り返らせたりするなどして、お子さんが自分で解決できるようにすることが大切です。

お子さんが理由などを述べずに、自分の考えだけを主張するとき

「どうしてそう考えたのかな。」「それは、どこから分かるのかな。」など、お子さんの考えたことについて、そのように考えた理由や根拠を確かめていますか。

保護者の方が納得できたとしても、他の人も同じように納得できるとは限りません。当たり前と思えることでも、理由や根拠を確認するなどして、お子さんが自分の考えを筋道立てて説明できるようにすることが大切です。

お子さんが、保護者の方に安心して自分の考えを伝えられるように、以下のようなことにも気を付けてみましょう。



- お子さんの顔を見て、会話をしていますか。
- うなずいたり、受け止めの言葉を発したりするなど、積極的に聞いている姿勢を示していますか。
- お子さんの話を、最初から否定しないで聞いていますか。
- お子さんの話を、最後までさえぎらずに聞いていますか。

2

お子さんの学習を家庭で支援する取組例

国語

平成 31 年度調査問題

5 (1)

出題のねらい

自分の考えが明確になるように、文章の構成を考えることができるかをみる。

さわ子さんは、【お礼の手紙の下書き】の①の部分に、草木ぞめに取り組んで分かったことを書こうとしています。書く内容として最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

【お礼の手紙の下書き】

たまたまかきあげが筆にゆれもきせつになりました。お礼ですが、先日は、草木ぞめを覚えてくださり、ありがとうございました。わたしは、草木ぞめは緑色が特徴になるものだと思っていたけれど、緑色の筆を使ったのにピンクの色に変わったのがびっくりしました。うれしかったのは、わたしの作業のところが大きな字のようにきれいに仕上がったことです。

①

作ったパンダは、顔と手足は黒い色で、これからも大切に扱います。次の運動会では、ダンスをする時に草木ぞめを身につけて、歌をうたう予定です。自然が生き出したのを楽しみながら、自然のゆたかさを表現していきたいです。これからも、草木ぞめを大切に扱います。きびしい事となります。どうぞお体を大切にしてください。

後付け

【さわ子さんのメモ】

- 分かったこと
 - ・ 漢字や漢字、画一画などを覚える。
 - ・ 植物によってさまざまな色がちがう。
- 山本さんの話で印象に残ったこと
 - ・ 草木ぞめは自然が生き出すものである。
 - ・ 草木ぞめを使うことは自然のゆたかさを伝えることにつながる。
- 交流は十五年目、学校の伝統になった。
- 活用について
 - ・ 運動会や運動会でパンダを使う。
- 山本さんへのお礼

- ア 自分たちの地いきは、草木ぞめが有名であること。
- イ さわ子さんの学校との交流は十五年目になること。
- ウ 植物がちがうと、そまる色もちがうこと。
- エ 運動会で草木ぞめのパンダを使うこと。

正答率：83.0%

家庭でも挑戦！

◎ 相手や目的に応じた手紙の書き方について一緒に考えてみましょう。

友達や家族等に手紙を書く機会を意図的につくとともに、相手や目的に応じた手紙の書き方についてお子さんと一緒に考えることが大切です。

家庭での取組例

お父さん：それなら、手紙を書いてみようか。

お母さん：そうだね。手紙はどのような内容にするといいかな。

お父さん：おじいちゃんとおばあちゃんに何を伝えたいの。

お母さん：がんばっている応援団のことを知ってほしいな。

お父さん：それはいいね。どのように書けば応援団の様子を伝えることができるかな。

お母さん：まず、応援団というのはどういうものなのかを説明して、そのあとに、がんばっていることや苦労していることを書くと、応援団のことがよく伝わると思う。

お父さん：そうだね。読む相手のことを考えながら、手紙を書くことが大切だね。

おじいちゃんとおばあちゃんに見に来てもらいたいな。

社会

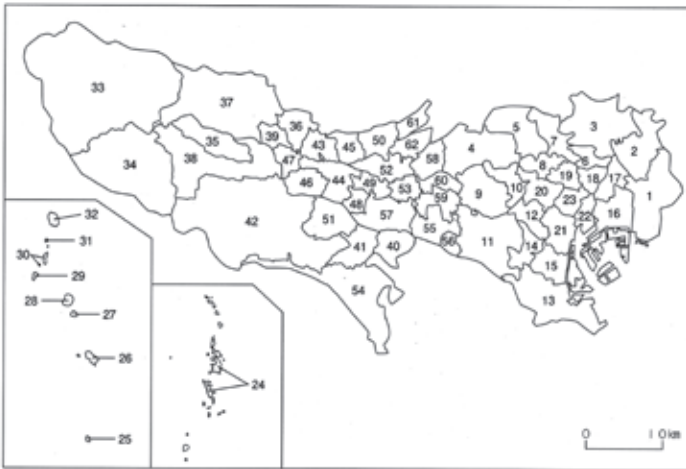
平成 31 年度調査問題

5 (1)

出題のねらい

自分たちが通う学校がある区市町村の地理的位置を理解しているかをみる。

【東京都の区市町村】



あなたの通っている学校がある区市町村の位置として最もふさわしいものを、次の地図【東京都の区市町村】の1から62までの中から1つ選び、解答用紙にある、地図【東京都の区市町村】の番号に○を付けましょう。

正答率：59.5%

家庭でも挑戦！

◎ 地図を活用して、調べたい場所と自分の区市町村との位置関係を確認できる環境を整えましょう。

地図帳は小学校4年生に配布されています。ニュースで取り上げられたり、これから訪れたりする東京都内や近隣の県内の場所と、自分の区市町村との位置関係を捉えることができるように、地図帳や家庭にある地図をお子さんがいつでも活用できる環境を整えることが大切です。

家庭での取組例



それはいいわね。東京都庁はどこにあるのか知っているかな。

東京オリンピック・パラリンピックの東京都内の聖火リレーは、東京都庁がゴールなんだから。ぼくも行ってみたいな。



よく知っているね。じゃあ、新宿区はどこにあるのかな。地図帳を使って説明してくれるかな。

学校で勉強したから知っているよ。東京都庁は新宿区にあるよ。



右下という言い方でいいかな。方位を使って説明してごらん。

新宿区はここだよ。ぼくたちの家から見て右下にあるね。



そうか。右下じゃなくて、南東だったね。



地図帳を活用して、調べたい場所と自分の区市町村の位置関係を捉えたり、方位を活用して説明したりすることを通して、位置や空間の広がりに着目することができるようになります。

算数

平成 31 年度調査問題

4 (2)

出題のねらい

場面からきまりを見つけて、問題を解決することができるかをみる。

次の【図2】のように一列につくえをつなげて、その周りに人がすわります。30人がつくえの周りにすわるためには、つくえが何個必要か答えましょう。

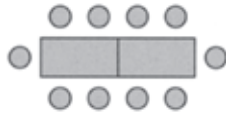
【図2】

正答：7個

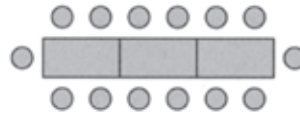
つくえが1個のとき



つくえが2個のとき



つくえが3個のとき



正答率：52.9%

家庭での取組例

日常生活の中には、伴って変わる二つの数量を見だし、数学的に表現・処理して、判断している場面が多くあります。次のようなやりとりを通して、お子さんが問題を解決するために必要な数量を見いだすことができるようにすることが大切です。

【遊園地の乗り物に乗る場面で】



すごい行列だね。

ちょっと並んで様子を見ようよ。

(5分後)



5分待ってみたけど、20人分、列が進んだよ。あと何分待つか。

わたしたちの前に並んでいる人は、まだ38人いるね。20人分進むのに5分待ったから、あとだいたい10分待てば乗れると思うよ。



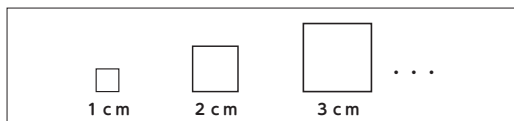
よく考えたね。あと10分だったら待てるかな。

参考：平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査

「東京ベーシック・ドリル」にチャレンジ！

算数 4年 13 (3) □、△などを用いた式

正方形の一辺の長さを、1 cm、2 cm、…と変えたとき、周りの長さはどのように変わるか調べましょう。



- ① 一辺の長さとおよのびの長さを、表にまとめましょう。
- ② 一辺の長さが1 cmずつふえると、およのびの長さはどのように変わりますか。
- ③ 一辺の長さが2倍、3倍…になると、およのびの長さはどのように変わりますか。
- ④ 一辺の長さを□cm、およのびの長さを△cmとして、□と△の関係を式に表しましょう。
- ⑤ 一辺の長さが30 cmのときの、およのびの長さを計算で求めましょう。

お子さんは、小学校第4学年までに、伴って変わる数量の関係を□や△を用いた式で表すことを学習しています。

変化の様子を調べたり、表に表したりすることを通して、数量の関係の特徴を見だし、式で表すことができるようにしていくことが大切です。

解答は、東京都教育委員会ホームページの「東京ベーシック・ドリル」ページから「算数 4年」に入ってください、「(13)□、△などを用いた式」の「答え 13-3」で御確認ください。



「東京ベーシック・ドリル」ホームページ

理科

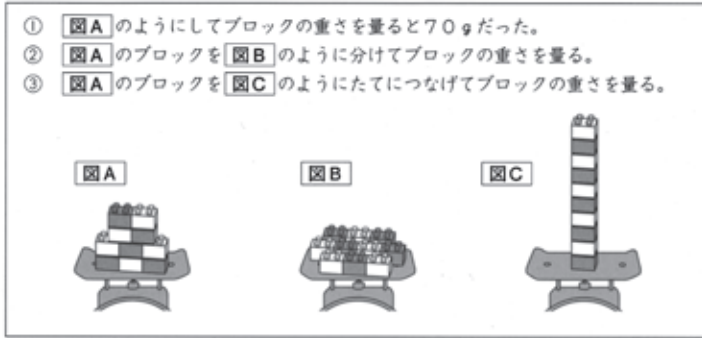
平成 31 年度調査問題

3 (2) 出題のねらい

物は、形が変わっても重さが変わらないことを理解しているかをみる。

次の【実験】のように、10個のブロックの置き方を変えて、それぞれの重さを調べました。図Bと図Cのブロックの重さとして最もふさわしいものを、下のアからウまでのの中からそれぞれ1つ選び、記号で答えましょう。

【実験】



図Bのブロックの重さは、
 ア 70gより重くなる。
 イ 70gより軽くなる。
 ウ 70gのままである。

図Cのブロックの重さは、
 ア 70gより重くなる。
 イ 70gより軽くなる。
 ウ 70gのままである。

正答率：77.6%

家庭での取組例

小学校第3学年の理科では、「物は、形が変わっても重さが変わらないこと」を学習しました。このことは、身の回りにある物にも当てはまります。学習を通して身に付けた知識について、身の回りの自然や日常生活に当てはめて考えたり、他の物でも当てはまるのかを確かめたりすることが大切です。



理科の授業で、粘土の形を変えても、重さは変わらないことを勉強したよ。



そうなんだね。この段ボールをリサイクルに出すために折りたたもうと思うんだけど、重さはどうなるかな。



粘土と同じように、形を変えても重さは変わらないと思うな。



なるほど。実際に、段ボールの形を変えて、重さを調べてみよう。

過去問にチャレンジ

「平成 30 年度児童・生徒の学力向上を図るための調査」の出題から

8 次の【いろいろなはかり方】のように、体重計の上で、両足で立って体重をはかったときの重さと、かた足で立ったり、しゃがんだりして体重をはかったときの重さとを比べた結果の組み合わせとして最もふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【いろいろなはかり方】



両足で立って体重をはかる



かた足で立って体重をはかる



しゃがんで体重をはかる

	かた足で立って 体重をはかる	しゃがんで 体重をはかる
ア	軽くなる	重くなる
イ	軽くなる	変わらない
ウ	変わらない	重くなる
エ	変わらない	変わらない

解答は、東京都教育委員会ホームページの「平成 30 年度児童・生徒の学力向上を図るための調査」ページ内の「小学校第5学年 理科 解答」で御確認ください。

「平成 30 年度児童・生徒の学力向上を図るための調査」ホームページ

